

「あおり低炭素社会づくり戦略」用語解説

国内クレジット制度

大企業の資金・技術により中小企業が排出を削減した場合、当該大企業がその削減量を自らの削減分として自主行動計画等に反映させる仕組み。中小企業の排出削減量を国内クレジットとして認証し、大企業が中小企業からクレジットを購入することにより、排出量取引が行われる。

オフセット・クレジット（J-V E R）制度

海外におけるプロジェクトにより実現された二酸化炭素の排出削減・吸収量を国連が認証する「京都メカニズムクレジット」に対して、国内におけるプロジェクトにより実現された温室効果ガス排出削減・吸収量をクレジット（排出枠）として認証する制度。オフセット・クレジット制度により認証されたクレジットは、主に*カーボン・オフセットの取組に用いられる。

* カーボン・オフセット

日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方。

LED

発光ダイオードと呼ばれる半導体のこと。LEDを光源に使った電球や蛍光灯は旧来の白熱電球や蛍光灯よりも消費電力が小さく、寿命も長い。

デマンド型交通

あらかじめ利用登録をした利用者が、予約に合わせて希望する場所から場所までドアツードアの移動を提供する公共交通サービス。

EV・PHV

EVは電気自動車。PHV（プラグインハイブリッド自動車）は家庭用コンセントなどの電源からも充電して走行可能なハイブリッド自動車。

パークアンドライドシステム

自宅から自家用車で最寄りの駅またはバス停まで行き、車を駐車させた後、バスや汽車等の公共交通機関を利用して都心部の目的地に向かうシステム。

H E M S（ホームエネルギーマネジメントシステム）

家電機器や給湯機器など住宅内のエネルギー消費機器をネットワーク化し、自動制御するシステム。

スマートグリッド

電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化する次世代送電網。

地球温暖化防止活動センター

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく制度で、各都道府県知事は、地域における地球温暖化対策に係る普及啓発・広報、活動支援、相談・助言、調査・分析、情報提供などの活動拠点となるセンターを指定できることとされている。

アースレンジャー（青森県地球温暖化防止活動推進員）

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく制度で、各都道府県知事は、地域において地球温暖化対策に係る普及啓発活動を行う推進員を委嘱できることとされている。青森県では通称「あおもリアースレンジャー」として委嘱している。

BEMS（ビルエネルギーマネジメントシステム）

業務用ビル等において室内環境・エネルギー使用状況を把握し、室内環境に応じた機器又は設備等の運転管理によってエネルギー消費量の削減を図るためのシステム。

ヒートポンプ

熱交換器と逆の原理で、低温側から高温側に熱を移動させる仕組みにより、低い温度の熱源から熱を吸収し、高い温度の熱源をさらに高くする機器で暖房・給湯などに使用できる。熱源として大気、地下水、コンピュータ排熱、ビルの雑排水、海水、下水、浴場排水、地中熱などがある。

カーボンミニマム

二酸化炭素排出の最小化。

コージェネレーションシステム

発電と同時に発生した排熱も利用して、給湯・暖房などを行うエネルギー供給システム。従来の発電システムでのエネルギー利用効率は40%程度で、残りは廃熱として放出されるが、コージェネレーションシステムでは理論上最大80%まで高めることができる。

キャップ&トレード

温室効果ガスの総排出量（総排出枠）を定め、それを個々の主体に排出枠として配分し、個々の主体間の排出枠の一部の移転（または獲得）を認める制度。